

群馬県議会時報

第 72 卷 令和3年第3回後期定例会



令和4年県議会新春交流会

群馬県議会事務局

— 目 次 —

議 会 の 動 き

議 会 日 誌	1
第3回後期定例会	3
知事の提案説明	3
質疑・一般質問	6
委員会・委員長報告	12
議員表彰	23
議案審議状況	26
議決事件概要及び結果	27
可決された委員会提出議案	36
請願の議決結果	42
請願の委員会別審査状況	43
閉会中継続審査（調査）特定事件	46
委員会委員名簿	49
議席一覧表	50
議長閉会のあいさつ	51

委 員 会 活 動

県 内 調 査 等	53
議員に密着ゼミナール～もっと知りたい政治のハナシ～	65

〈表紙写真〉「令和4年県議会新春交流会」

県議会主催の新春交流会が1月5日（水）に県庁舎1階県民ホールで開催され、県議会議員、県選出国會議員、山本知事をはじめ県執行部、市町村長、各団体の代表、県民の皆さまなど約300人が参加し、新年を祝いました。

議 会 の 動 き

議 会 日 誌

月 日	曜	行 事
11月2日	火	特別委員会県内調査（脱炭素社会）
17日	水	議会運営委員会 調 整 日
24日	水	議会運営委員会 第3回後期定例会本会議（開会・提案説明） 常任委員会（総務企画）（文教警察）
25日	木	議案調査
26日	金	”
27日	⊕	
28日	⊕	
29日	月	本 会 議（委員長報告・議決・質疑及び一般質問）
30日	火	本 会 議（質疑及び一般質問）
12月1日	水	議案調査
2日	木	本 会 議（質疑及び一般質問）
3日	金	議案調査
4日	⊕	
5日	⊕	
6日	月	常任委員会（総務企画）（健康福祉）（産経土木）（文教警察） 常任委員会県内調査（環境農林）
7日	火	常任委員会（総務企画）（健康福祉）（環境農林）（産経土木） （文教警察）
8日	水	議案調査
9日	木	特別委員会（新型コロナ）（DX）（脱炭素社会）（地方創生）
10日	金	議会運営委員会 委員会予備日
11日	⊕	
12日	⊕	

月 日	曜	行 事
12月13日	月	調 整 日
14日	火	議会運営委員会 本 会 議 (委員長報告・議決・提案説明・質疑)
15日	水	常任委員会 (総務企画) (健康福祉) (環境農林) (産経土木)
16日	木	本 会 議 (委員長報告・議決・閉会)
17日	金	
18日	⊕	
19日	⊕	
20日	月	
21日	火	特別委員会企業調査 (DX)

第3回後期定例会

知事の提案説明



知 事

山 本 一 太

11月24日

第3回後期定例会県議会の開会に当たり、提案説明の前に、一言申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症に関する県内の状況について申し上げます。群馬県への緊急事態措置が解除された10月以降、県内の感染状況は、総じて落ち着いています。1日当たりの新規感染者数、病床稼働率ともに1桁台を維持しており、その他の数値も低い水準で推移しています。こうした状況を踏まえ、11月6日に県内の警戒度を「1」に引き下げたところです。

これまでの県民や事業者の皆さまの御理解と御協力、また、医療関係者の御尽力に対し、この場をお借りして、厚く感謝申し上げます。

こうした落ち着いた状況の中で、群馬県では全国に先駆け、ワクチン手帳を活用して、社会経済活動の再開に向けた取組を進めています。

まず、10月15日からの試行を経て、11月1日から「愛郷^{あいきょう}ぐんまプロジェクト」を本格実施させました。既に延べ6万5千人を超える県民に御利用いただき、観光関係者の皆さまからも好評をいただいています。

また、同時に「ぐんま Go To Eat ワクチンプレミアム」の販売も開始し、11月15日までの期間中で、予定していた16万冊が完売となりました。休業要請や時短営業により厳しい経営環境にあった飲食店等への応援になるものと期待しています。

いずれの事業も、県民の皆さまに御利用いただくことが、地域経済の早期回復につながります。事業者を支援するという意味でも、積極的に御利用いただきますようお願い申し上げます。

一方で、欧州などの海外では、ワクチン接種が進んでいながら、感染が再拡大している国もあり、これから年末年始に向け、第6波が懸念されるところです。

県としては、第5波の経験を踏まえて、コロナ病床のさらなる確保や宿泊療養施設の機能充実など、医療提供体制の強化に取り組んでいます。

また、県営ワクチン接種センターの運営や各市町村の懸命な取組により、全国トップクラスのスピードでワクチン接種を進めてきました。この結果、既に接種対象者の8割を超える方が、2回目の接種を終えています。

県民の皆さまには、こうした状況にも油断することなく、基本的な感染防止対策を継続していただきますようお願い申し上げます。

さて、先の衆議院議員総選挙を経て、先日、第2次岸田内閣が発足しました。喫緊の課題であるコロナ対策を始めとしたさまざまな対応には、国との連携が不可欠です。群馬県の発展と県民の幸福を実現していくため、しっかりと連携していきたいと考えています。

それでは、本日提出いたしました議案の概要について、御説明申し上げます。

今回の提出議案は、予算関係8件、事件議案12件の合計20件です。

〔予算関係〕

はじめに、予算関係について御説明いたします。

一般会計の補正予算額は10億7,735万円の減額であり、現計予算額と合算いたしますと、補正後の予算額は9,082億6,240万円となります。

まず、職員給与に関して、人事委員会勧告に基づき、期末手当の引下げを実施することとし、所要の減額補正を行っています。

引き続き、新型コロナウイルス感染症対策に係る予算も盛り込んでいます。まず、感染拡大時における積極的疫学調査のための体制を整備するとともに、介護施設等の感染防止対策を支援します。また、「ストップコロナ！対策認定店」の申請増加への対応や、認定の質を担保するための調査等を実施します。

このほか、公共交通を維持するため、乗合バスの運行を支援するとともに、コロナ後のマイクロツーリズムを推進するため、旅行業者の商品造成等を支援します。

債務負担行為については、中小企業向け工事の発注時期を平準化する「ゼロ県債」や、県有施設の指定管理に関する協定など、来年度以降にわたる契約を締結しようとするものです。

企業会計については、まず、一般会計と同様に、給与改定に伴う減額補正を行います。また、病院事業会計におけるコロナ対応職員への見舞金の支給や、団地造成事業会計における新規工業団地造成に係る債務負担行為の設定を行います。

〔事件議案〕

次に、事件議案のうち、主なものについて申し上げます。

第181号議案及び第185号議案は、「県有施設のあり方見直し」の最終報告に基づき、県民会館の小ホール等の廃止及び妙義青少年自然の家の施設廃止に伴う所要の改正を行うものです。

第188号議案及び第189号議案は、旧桐生南高等学校及び旧桐生女子高等学校の建物等の不動産を売却しようとするものです。

以上、提出議案の概要について御説明申し上げます。何とぞ、慎重御審議の上、御議決くださいますようお願い申し上げます。

なお、第180号議案及び第184号議案は、職員等の給与改定を行おうとするものであり、期末手当の支給基準日との関係から、早急に御議決くださいますようお願い申し上げます。

----- 12月14日 -----

本日、追加提出いたしました議案について御説明申し上げます。

追加提出議案は、一般会計補正予算1件、事件議案3件の合計4件です。

〔予算関係〕

まず、補正予算について申し上げます。今回の補正予算は、先月閣議決定された国補正予算のうち、早急に対応が必要な事業について追加提案したものです。

その内容ですが、新型コロナ対策については、ワクチン・検査パッケージとして、PCR等検査の無料化や、感染拡大時に人数制限緩和の適用を受ける飲食店等の登録を行います。また、ワクチンの3回目接種体制を確保するため、県営ワクチン接種センターを設置します。その他、ワクチン接種回数を増やす診療所等に対する助成や、生活困窮者に対する支援金を継続します。

公共事業については、国補正予算を活用し、防災・減災、国土強靱化^{きょうじんか}等を推進します。

これら事業に係る予算として、283億9,297万円の増額補正を行うとともに、県営ワクチン接種センター運営について、来年度にわたる契約を締結するために、必要な債務負担行為を設定します。

〔事件議案〕

続きまして、事件議案について申し上げます。追加提出議案は、「収用委員会委員及び予備委員の選任」についてです。これは、現在の収用委員であります君島准逸氏及び清水千恵子氏の任期が、12月18日をもって満了となりますので、再任しようとするものです。

また、現在の予備委員につきましても、保坂充勇氏の任期が12月18日をもって満了となりますので、再任しようとするものです。

以上、追加提出議案の概要について、御説明申し上げます。なお、収用委員会委員及び予備委員の選任につきましても、事案の性質上、早急に御議決くださいますよう、お願い申し上げます。

質 疑 ・ 一 般 質 問

■11月24日	日本共産党	伊藤 祐司 議員		自由民主党	牛木 義 議員
■11月29日	自由民主党	星名建市 議員	■12月2日	自由民主党	秋山健太郎 議員
	リベラル群馬	加賀谷富士子 議員		リベラル群馬	八木田恭之 議員
	自由民主党	大和 勲 議員		自由民主党	相沢崇文 議員
	令 明	井田泰彦 議員		自由民主党	久保田順一郎 議員
■11月30日	自由民主党	岸 善一郎 議員	■12月14日	自由民主党	金井康夫 議員
	公 明 党	水野俊雄 議員		公 明 党	薬丸 潔 議員
	自由民主党	今泉健司 議員		日本共産党	酒井宏明 議員

11月24日



- 1 職員ボーナス引下げと地域経済への影響について

日本共産党

伊藤 祐司 議員 (高崎市)

11月29日 第1日目



- 1 山本知事の県政運営について
- 2 森林・林業に関する施策について
- 3 中高生の自転車事故防止について
- 4 危機管理センターオペレーションルームについて
- 5 地元問題について

自由民主党

星名 建市 議員 (渋川市)



リベラル群馬

加賀谷富士子 議員（伊勢崎市）

- 1 労働者協同組合法について
- 2 外国人技能実習生について
- 3 多文化共生・共創の推進について
- 4 住宅確保要配慮者居住支援について
- 5 施設園芸等における燃油価格高騰対策について
- 6 超低出生体重児について
- 7 子どもと向き合う姿勢について
- 8 伊勢崎特別支援学校の整備について
- 9 子ども食堂について



自由民主党

大和 勲 議員（伊勢崎市）

- 1 令和3年度の県税収入見通し及び確保対策について
- 2 命名権（ネーミングライツ）の県有施設への導入状況について
- 3 官民連携のためのPPP／PFIプラットフォームについて
- 4 県内産業の振興について
- 5 企業局の特徴を生かした企業誘致について
- 6 歳入の確保及び民間活力の活用について
- 7 全庁を挙げた脱炭素社会に向けた組織作りについて
- 8 多文化共生について
- 9 地元の課題について



令明

井田 泰彦 議員（桐生市）

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
- 2 コロナ禍における献血・骨髄バンクについて
- 3 中小企業の賃上げへの支援について
- 4 太陽光発電設備の設置に関する規制について
- 5 子どもの貧困対策について
- 6 信号交差点における自転車の通行環境の整備について
- 7 高校生のヘルメット着用の定着化について
- 8 桐生南高校・桐生女子高校の跡地の管理について
- 9 衆議院小選挙区の区割り見直しについて



自由民主党
岸 善一郎 議員（高崎市）

- 1 群馬県の財政状況について
- 2 群馬県の農業政策について
- 3 危機管理について
- 4 産業振興について
- 5 西毛広域幹線道路について
- 6 高崎北警察署について
- 7 企業誘致について
- 8 ぐんまちゃんのアニメ化について



公明党
水野 俊雄 議員（前橋市）

- 1 「GACHi 高校生×^{ガチ}県議会議員」での高校生からの意見について
- 2 教育委員会の障がい者雇用の促進について
- 3 ヤングケアラー支援について
- 4 養育費確保事業について
- 5 「グルっとぐんま旅行業者応援」について
- 6 バリアフリーツアーセンターについて
- 7 群馬県倫理規定について
- 8 群馬県避難ビジョンについて



自由民主党
今泉 健司 議員（みどり市）

- 1 公立中高一貫教育校の考え方と今後について
- 2 種子センターの整備に向けた支援について
- 3 カワウによる漁業被害対策について
- 4 障がい者雇用の施策について
- 5 所有者の所在の把握が難しい森林について
- 6 脱炭素先行地域を目指す市町村への支援について
- 7 コロナ禍における県内の離職状況と就労機会支援について
- 8 県産農畜水産物の需要拡大について
- 9 県道太田大間々線諸町交差点改良について



自由民主党
牛木 義 議員（甘楽郡）

- 1 ニホンジカの捕獲の現状と今後の取組について
- 2 地域に応じた林業の振興について
- 3 学校教育現場における屋外活動時の紫外線対策について
- 4 市町村との連携強化について
- 5 企業版ふるさと納税の推進について
- 6 マイナンバーカード普及に向けた取組について
- 7 脱炭素社会に向けた取組について
- 8 国道254号東町工区について

12月2日 第3日目



自由民主党
秋山健太郎 議員（太田市）

- 1 コロナ禍の影響を受けている事業者への今後の支援について
- 2 県内製造業（輸送機器関連）について
- 3 農業用免税軽油の利用促進について
- 4 福祉分野におけるeスポーツの活用について
- 5 災害福祉支援センターについて
- 6 プロスポーツの支援について
- 7 感染管理認定看護師について
- 8 認定薬局制度について
- 9 教科担任制の現在の状況について
- 10 子ども家庭総合支援拠点について
- 11 インターネット上の誹謗中傷相談について
- 12 持続可能な水田農業について



リベラル群馬
八木田恭之 議員（太田市）

- 1 通学路の安全対策について
- 2 本県におけるひきこもり支援の状況について
- 3 ハラスメント防止対策について
- 4 インターネット上の誹謗中傷対策等について
- 5 児童虐待防止について
- 6 県民総活躍社会実現への取組について



自由民主党
相沢 崇文 議員（桐生市）

- 1 豚熱対策について
- 2 新型コロナウイルスワクチン接種について
- 3 災害から県民を守る取組について
- 4 悩みを抱える親や児童生徒の課題解決に向けたシステムの構築について
- 5 ジビエの活用に向けた出荷制限解除について
- 6 県産木材の需要拡大策について



自由民主党
久保田順一郎 議員（邑楽郡）

- 1 新型コロナウイルス感染症対策の課題と今後について
- 2 農業振興について
- 3 林業振興における優良苗木の確保について
- 4 DX 推進について
- 5 地元問題について

12月14日



自由民主党
金井 康夫 議員（沼田市）

- 1 新型コロナウイルス感染症関連について



1 PCR 検査等無料化について

公明党

薬丸 潔 議員（太田市）



1 PCR 検査の無料化について

日本共産党

酒井 宏明 議員（前橋市）

委員会・委員長報告

11月29日

文教警察常任委員会



委員長 伊藤 清

文教警察常任委員会に付託されました第184号議案「群馬県公立学校職員の給与に関する条例及び群

馬県公立学校等会計年度任用職員の給与、旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例」の審査経過と結果について御報告申し上げます。

本議案は、人事委員会勧告に基づく、学校職員の期末手当の支給の引下げに係る議案であります。

審査では、新型コロナウイルスの対応等により、職員に負担がかかることが多い中、職員の業績の評価について当局の見解が求められるとともに、適切な評価を行うよう要望されました。

これらの点を踏まえ採決した結果、本委員会に付託されました。第184号議案は、全会一致をもって、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上、申し上げまして委員長報告といたします。

総務企画常任委員会



委員長 穂積昌信

総務企画常任委員会に付託されました第180号議案「群馬県職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例」の審査経過と結果について、御報告申し上げます。

本委員会では、人事委員会勧告に基づく期末手当の年間支給月数の引下げなど、県職員の給与改定等について、慎重審議の上、採決をした結果、本委員会に付託されました。第180号議案は、多数をもって、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上、申し上げまして委員長報告といたします。

健康福祉常任委員会



委員長 泉沢 信哉

健康福祉常任委員会に付託されました案件の審査経過と結果について、御報告を申し上げます。

本委員会に付託されました第179号議案「令和3年度群馬県病院事業会計補正予算」及び第187号議案「指定管理者の指定について」は、慎重に審議され、第172号議案「令和3年度群馬県一般会計補正予算」に関しては、太田市内の工場で発生したクラスターや介護保険事業所等における新型コロナウイルス感染対策のかかり増し経費補助について質疑されました。

以上を踏まえ採決した結果、第172号及び第179号の各議案は多数をもって、第187号議案は全会一致をもって、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

引き続き行いました請願の審査結果につきましては、お手元に配付の報告書のとおりであります。

続いて、「新型コロナウイルス感染症対策における有事の医療提供体制と平時の医療提供体制を両立維持するための財源確保を求める意見書」の発議についてですが、県民の生命と健康を守るためには、地域の医療機関が一体となって有事と平時の医療提

供体制を両立維持していくことが必要不可欠であるため、国に十分な財源措置を講ずるよう要望するものであり、採決の結果、全会一致をもって、本委員会から発議することに決定いたしました。

また、「旧姓の通称使用の拡大を図り、改姓による不便や不利益の解消を求める意見書」の発議についてであります。婚姻により改姓した人が不便さや不利益を生じることがないように、旧姓の通称使用の拡大やその周知に取り組むことを国に要望するものであり、採決の結果、多数をもって本委員会から発議することに決定いたしました。

このほか、委員会の所管事項について、各般の議論が行われましたので、以下、その主な項目について申し上げます。

- まず、健康福祉部・病院局関係では、
- ・新型コロナウイルス感染症対策及びワクチン接種の推進について
 - ・オミクロン株流入時の防疫体制について
 - ・ひきこもりに係る実態調査の内容と今後の取組について
 - ・生活保護受給者に対する指導について
 - ・県立病院の未来を考える有識者会議について
 - ・福祉施設における業務継続計画の策定状況について
 - ・高齢者施設における虐待防止対策について
 - ・コロナ禍における依存症について
 - ・がん患者の治療と仕事の両立支援について
- 次に、生活こども部関係では、
- ・広域通信制高校の設置に向けた審査等について
 - ・私立学校に対する支援について
 - ・廃止された産休等代替職員設置費補助事業について
 - ・児童虐待防止に係る取組について

- ・ 養育費確保支援事業の検討状況について
- ・ 子どもの学習支援事業の現状と ICT 教室の取組状況について
- ・ 医療的ケア児に対する取組について

これらの事項につきましても、活発な議論が行われました。

以上、申し上げまして委員長報告といたします。

環境農林常任委員会



委員長 今泉 健司

環境農林常任委員会に付託されました案件の審査経過と結果について、御報告を申し上げます。

はじめに、付託議案の審査についてであります。第172号議案「令和3年度群馬県一般会計補正予算」では、浅間牧場整備の総事業費について、質疑されました。

その他の議案についても、慎重に審議の上、採決した結果、本委員会に付託されました各議案は、いずれも全会一致をもって、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

引き続き行いました請願の審査結果につきましては、お手元に配付の報告書のとおりであります。

続いて、「コロナ禍による米の価格下落及び需給の改善に関する意見書」の発議についてですが、これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、米価が下落する中、生産者の意欲を損なうことなく、安定的な米価の下で営農が継続できるよう、需給状

況の改善や予算の確保等を国に要望するものであり、採決の結果、全会一致をもって、本委員会から発議することに決定いたしました。

このほか、委員会の所管事項について、各般の議論が行われましたので、以下、その主な項目について申し上げます。

まず、環境森林部関係ですが、

- ・ 大手住宅メーカーに対する県産木材利用の働きかけについて
- ・ 狩猟報告のデジタル化について
- ・ 県立赤城公園活性化に向けた基本構想の策定状況について

- ・ 森林サービス産業の推進について
- ・ ぐんまゼロ宣言住宅促進事業について
- ・ 桐生木材ヤードの活用について

次に、農政部関係については、豚熱対策に関して、

- ・ ワクチンの接種適期について
 - ・ 発生農場における全頭処分の緩和について
 - ・ ワクチンの前倒し接種について
 - ・ 知事の消毒命令について
 - ・ 5例目の発生原因について
 - ・ 経営再開時に農家に交付される互助基金の県内加入状況及び加入促進の取組について
 - ・ 農場における小動物対策について
 - ・ 緊急対策における農家への石灰配布について
 - ・ 頻発している本県と他県との違いについて
 - ・ 母豚^{ほとん}の早期更新に関する取組への支援について
- そのほか、
- ・ 野生鳥獣の利活用について

- ・自給飼料の生産振興について
- ・G-アナライズ& PR チームの分析結果の活用について

これらの事項につきましても、活発な議論が行われました。

以上、申し上げまして委員長報告といたします。

産経土木常任委員会



委員長 大和 勲

産経土木常任委員会に付託されました案件の審査経過と結果について、御報告申し上げます。

はじめに、付託議案のうち、第172号議案「令和3年度群馬県一般会計補正予算」に関して、産業経済部関係では、「ストップコロナ！対策認定制度」について、認定の状況や見回り調査の実施方法について質疑されました。

また、基盤技術 DX トレーニング推進について、システムの活用方法や期待される効果について質疑されました。

また、ものづくり企業展示会出展支援について、コロナの感染状況により展示会が中止となった場合の対応等について質疑されました。

さらに、「グルっとぐんま旅行者支援」については、なるべく多くの事業者へ支援が届くよう、対象を柔軟に捉えることなどが要望されました。県土整備部関係では、乗合バス運行費支援について、対象事業者や支給時期の見通しについて質疑されまし

た。

次に、第177号議案「令和3年度群馬県団地造成事業会計補正予算」に関して、明和東部工業団地整備の事業スケジュールや資金回収の見込みについて質疑されました。

次に、第182号議案「群馬県都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例の一部を改正する条例」に関して、関係市との連携や、災害への備えに対する県の考え方などについて質疑されるとともに、しっかりと事業者や地域住民へ周知を行うことが要望されました。

次に、第187号議案「指定管理者の指定」に関して、産業経済部関係では、宝台樹キャンプ場・スキー場について、候補者の管理運営体制等について質疑されました。

企業局関係では、県営ゴルフ場について、複数から応募してもらえるための工夫や、県営ゴルフ場のあり方に対する県の見解、候補者の障害者雇用の状況について質疑されました。

次に、第190号議案「和解について」、その内容が質されるとともに、交渉中案件の進捗状況や和解の見込み、また、今後のワクチン接種センターの設置が予定される期間中の予約状況等について質疑されました。

以上を踏まえ、採決した結果、本委員会に付託されました各議案はいずれも全会一致をもって、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

引き続き行いました、請願の審査結果であります。産経土木第17号の請願について、取下げ願を全会一致で承認したことなど、お手元に配付の報告書

のとおりであります。

このほか、委員会の所管事項について、各般の議論が行われましたので、以下、その主な項目について申し上げます。

はじめに、産業経済部関係では、

- ・インボイス制度導入に係る事業者支援について
- ・事業承継について
- ・中小企業へのハラスメント対策義務化について
- ・アンテナショップ「ぐんまちゃん家」の状況について
- ・スタートアップ支援について
- ・新型コロナ関連制度融資について

次に、企業局関係では、

- ・水素エネルギー利活用に向けた取組について
- 次に、県土整備部関係では、
- ・群馬県住生活基本計画2021（案）について
- ・群馬県マンション管理適正化推進計画（案）について
- ・ゾーン30プラスについて
- ・ユニバーサルデザインタクシーについて
- ・市町村乗合バス補助制度について

これらの事項につきましても、活発な議論が行われました。

以上、申し上げまして委員長報告といたします。

文教警察常任委員会



委員長 伊藤 清

文教警察常任委員会に付託されました案件の審査経過と結果について、御報告申し上げます。

はじめに、付託議案についてであります。第185号議案「群馬県立青少年自然の家の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例」に関しては、妙義青少年自然の家の廃止後の方向性について質されました。

次に、第186号議案「群馬県銃砲刀剣類所持等取締法関係手数料条例の一部を改正する条例」に関し

ては、クロスボウの申請手続きや所持・廃棄等に関する相談状況について質されました。

また、第172号議案「令和3年度群馬県一般会計補正予算」に関しても、慎重に審査して採決した結果、本委員会に付託されました議案は、いずれも全会一致をもって、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

引き続き行いました請願の審査結果につきましては、お手元に配付の報告書のとおりであります。

続いて、「交通安全施設整備に向けた財源確保等に関する意見書」の発議についてであります。今年6月に、千葉県八街市で下校中の児童が飲酒運転のトラックに巻き込まれるという痛ましい事故が発生しました。この事故を受けて県内でも通学路の危険箇所の総点検を行い、安全対策を実施していますが、交通安全施設整備の財源確保等が喫緊の課題となっています。

このため、交通安全施設整備の拡充、通学路の安全確保に向けた支援の強化等を国に要望するものであり、採決の結果、全会一致をもって、本委員会から発議することに決定いたしました。

このほか、委員会の所管事項について各般の議論が行われましたので、以下、その主な項目について申し上げます。

はじめに、教育委員会関係については、

- ・二葉高等特別支援学校のスクールバスの状況について
 - ・群馬県の公立通信制高校の現状について
 - ・県立高校等のエアコンの改修について
 - ・高等学校等奨学金貸与事業について
 - ・生命の安全教育の取組状況について
 - ・制服の選択制の状況について
 - ・男女混合名簿の導入状況について
 - ・教職員の人事評価について
 - ・教員不足の現状について
 - ・教職員の多忙化解消について
 - ・学校における働き方改革について
- 次に、警察本部関係については、

- ・警察署交通課の窓口業務受付時間について
- ・警察業務のオンライン申請の現状と今後の見通しについて
- ・特別昇給制度と警察職員提案について
- ・SNSに起因する児童の犯罪被害について
- ・児童虐待の現状と警察の取組について
- ・通学路の安全対策について
- ・信号機設置の考え方について
- ・鉄道施設や列車内における無差別殺傷事案対策について
- ・動物愛護法違反に関する検挙状況と知事部局との連携について
- ・離脱した暴力団員への就労支援について

これらの事項につきましても、活発な議論が行われました。

以上、申し上げまして委員長報告といたします。

総務企画常任委員会



委員長 穂積昌信

総務企画常任委員会に付託されました案件の審査経過と結果について、御報告申し上げます。

はじめに、付託議案についてであります。第181号議案「群馬県民会館の設置及び管理に関する

条例の一部を改正する条例」及び第187号議案「指定管理者の指定について」に関して、県民会館で利用できる施設を大ホール及びそれに付随する施設のみとした理由や指定管理者変更に伴う管理ノウハウの継続方法、指定管理期間終了後の見通しについて質されました。

また、県民会館の駐車場の利用方法や確保対策、ネーミングライツの管理についても質疑が行われました。

次に、第188号議案及び第189号議案「不動産の処分について」に関しては、旧桐生南高校の土地、建物のうち、建物のみを売却することになった理由が質されるとともに、土地の賃貸借契約の内容等についても質されました。

また、今回売却する旧桐生女子高校跡地に通信制私立高校の設置が計画されていることについて、ど

のように考えているか質されました。

このほか、不動産の売却価格の算定方法や今後の売却に向けたスケジュールについて質疑が行われました。

以上の点を踏まえ採決した結果、本委員会に付託されました各議案のうち、第172号、第181号、第187号及び第191号の各議案は多数をもって、そのほかの議案は全会一致をもって、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

このほか、委員会の所管事項について、各般の議論が行われましたので、以下、その主な項目について申し上げます。

まず、知事戦略部関係ですが、

- ・マイナンバーカードの取得等に伴うマイナポイントの登録支援について
 - ・マイナンバーカードの機能拡充について
 - ・コロナ禍における県立大学の学生に対する生活支援等について
 - ・アニメ「ぐんまちゃん」の今後の活用について
 - ・県庁の業務システムにおけるベンダーの状況について
 - ・DX推進のためのIT企業誘致について
 - ・「ぐんまDX加速化プログラム」について
 - ・業務のデジタル化による県職員への影響について
 - ・ぐんまワクチン手帳の登録者の状況について
 - ・群馬県デジタル窓口の活用について
- 次に、総務部関係では、
- ・県民駐車場屋上の喫煙所の環境改善について

- ・新型コロナ対応及び豚熱対応に係る職員の勤務時間の状況について
 - ・県職員の期末手当引下げに係る考え方について
 - ・県営ワクチン接種センターの開設に伴う時間外勤務の縮減対策について
 - ・県職員に対するハラスメントに係る外部相談窓口の設置について
 - ・大学生×群馬^{かける}県職員ミートアップについて
 - ・市町村における災害時に備えた個別避難計画の作成状況について
 - ・県及び市町村の防災会議における女性委員の状況について
- 最後に地域創生部関係では、
- ・不法滞在者への新型コロナワクチン接種に係る考え方について
 - ・オスプレイの飛行訓練への対応について
 - ・人間国宝須田賢司氏との協力について
 - ・ニューイヤー駅伝開催のメリット及び意義について
 - ・ニューイヤー駅伝の優勝チームや本県関係チーム、選手との連携について
 - ・群馬県への移住促進について
 - ・歴史博物館「デジタル^{はにわ}植輪展示室（仮称）」について
- これらの事項につきましても、活発な議論が行われました。
- 以上、申し上げまして委員長報告といたします。

健康福祉常任委員会



委員長 泉沢信哉

健康福祉常任委員会に付託されました第192号議案「令和3年度群馬県一般会計補正予算」の審査経過と結果について、御報告申し上げます。

審査では、はじめに、ワクチン検査パッケージに係るPCR検査申込について、健康上の理由によりワクチン未接種であることの確認方法が質されました。

さらに、次の各事項について質疑されました。

- ・PCR検査を申し込む薬局等の対応における統一的なマニュアルの必要性について
- ・イベント主催者におけるPCR検査の実施方法について
- ・ワクチンを2回接種済みの方が感染の不安を感じる場合の無料のPCR検査について
- ・市町村が独自に行うPCR検査に対する県の支援について
- ・県内におけるワクチンの在庫状況について
- ・市町村における3回目接種の現状や開始時期について

最後に、3回目接種の前倒しの可能性や県営ワクチン接種センターの開始時期について質されました。

以上の点を踏まえ採決した結果、本委員会に付託されました第192号議案は、全会一致をもって、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上、申し上げます委員長報告といたします。

環境農林常任委員会



委員長 今泉 健司

環境農林常任委員会に付託されました第192号議案「令和3年度群馬県一般会計補正予算」の審査経過と結果について御報告申し上げます。

はじめに、公共工事に関して、環境森林部の補助公共林道事業や農政部の農業農村整備事業などの補正予算の詳細について質疑されました。

次に、今回の補正予算において、森林・林業基本計画や農業農村振興計画に係る事業の前倒しの考え方について質疑されました。

以上の点を踏まえ採決した結果、本委員会に付託されました議案は、全会一致をもって、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上、申し上げまして委員長報告といたします。

産経土木常任委員会



委員長 大和 勲

産経土木常任委員会に付託されました第192号議案「令和3年度群馬県一般会計補正予算」の審査経過と結果について、御報告申し上げます。

産業経済部関係では、ワクチン・検査パッケージに基づく事業者登録について、対象となる事業者の業種や申請手続き、店舗の周知方法などについて質疑されました。

県土整備部関係では、防災・減災対策や社会資本の長寿命化対策などについて質されるとともに、「防災・減災、国土強^{きょうじん}靱化のための5か年加速化対策」を含む国の補正予算を最大限活用し、県と市町村が一体となって、県民の命と暮らしを守る公共事業予算を確保していくよう要望されました。

以上の点を踏まえ採決した結果、本委員会に付託されました第192号議案は、全会一致をもって、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上、申し上げまして委員長報告といたします。

総務企画常任委員会



委員長 穂積昌信

総務企画常任委員会に付託されました案件の審査経過と結果について、御報告申し上げます。

本委員会では、第192号議案「令和3年度群馬県一般会計補正予算」の歳入に関して、今回発行する県債の詳細な内容が質されました。

また、県債に関連し、個人向け県債の発行に係る考え方について質疑が行われました。

以上の点を踏まえ採決した結果、本委員会に付託されました第192号議案は、全会一致をもって、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上、申し上げまして委員長報告といたします。

議 員 表 彰

全国都道府県議会議長会表彰状伝達及び 群馬県議会顕彰状授与並びに知事感謝状贈呈

県議会議員在職30年の永年勤続議員として中沢丈一議員が、在職10年の永年勤続議員として岸善一郎議員、井下泰伸議員、酒井宏明議員、金井康夫議員、金子渡議員、安孫子哲議員、小川晶議員が、全国都道府県議会議長会から表彰されました。

その功績を讃え、第3回後期定例会本会議日の12月14日、県議会から顕彰状を授与するとともに、知事から感謝状が贈呈されました。

〈在職30年の議員〉



中沢 丈一 議員

〈在職10年の議員〉



岸 善一郎 議員



井下 泰伸 議員



酒井 宏明 議員



金井 康夫 議員



金子 渡 議員



安孫子 哲 議員



小川 晶 議員

式 辞

議長 井田 泉

「全国都道府県議会議長会表彰状伝達及び群馬県議会顕彰状授与並びに知事感謝状贈呈式」を挙げるに当たり、一言、ごあいさつを申し上げます。

このたび、表彰の栄に浴されました皆さまにおかれましては、多年にわたり、県議会議員として、地方自治の発展と県民福祉の向上に尽力され、卓抜なる識見と果敢な行動力とで、県政の進展に御貢献をいただいております。

ここに、皆さまのこれまでの御労苦に対し、深甚なる敬意と感謝の意を表するとともに、このたびは栄えある受賞を心からお祝い申し上げます。

さて、昨年からの新型コロナウイルス感染症の拡大により、県民の生活はさまざまな面で影響を受けるとともに、大きな変化を強いられております。このような状況下においては、県民の声を県政に反映させる県議会の役割が今まで以上に重要なものとなってきております。

本県議会におきましても、現下の情勢を踏まえ、議員一人一人が高い使命感と強い責任感をもって自己研鑽^{けんさん}に精励するとともに、県民の誰もが安心して暮らせる豊かな群馬の創造に向けて、不断の努力を尽くしていかねばなりません。

受賞された皆さまにおかれましては、今後とも御自愛のうえ、豊富な知識と経験を生かし、卓越した指導力を存分に発揮され、ふるさと群馬のさらなる発展のため、なお一層の御尽力を賜りますよう、お願い申し上げます。

おめでとうございます。

祝 辞

議員代表 星野 寛

議員一同を代表いたしまして、一言、お祝いの言葉を申し上げます。

このたび、長年にわたる御功績により、中沢丈一議員をはじめとする8人の議員各位が、永年勤続議員として全国都道府県議会議長会表彰を受賞され、本日、群馬県議会から顕彰状が授与され、また、山本知事から感謝状が贈呈されました。

同僚議員といたしまして、このたびの受賞を心からお喜び申し上げます。

受賞された議員の皆さまにおかれましては、多年にわたり、県民の代表として議会運営はもとより、地方自治の確立と県民生活の向上のため、ふるさと群馬への深い愛情と高い志を持って、全力でまい進されてこられたところであります。

皆さまのこのような惜しみない御尽力が、県政発展の原動力であり、大きな推進力となってきたものと確信いたしております。

また、昨年からの新型コロナウイルス感染症の拡大により、群馬県も大変な状況になっております。皆さまにおかれましては、今までの議員としての豊富な知識と経験を生かして、この未曾有^{みそ}の事態に対応していただきたいと思っております。

そしてこれからも、県民の幸せと、県政の発展のため、ますます御活躍されますことを御期待申し上げ、お祝いの言葉といたします。

おめでとうございます。

謝 辞

受賞者代表 中沢 丈一

永年勤続表彰受賞者を代表いたしまして、一言、御礼を申し上げます。

本日は、議員各位並びに知事はじめ執行部、各委員の皆さまの御参席のもと、全国都道府県議会議長会表彰の伝達に併せ、県議会からは「顕彰状」を、知事からは「感謝状」をいただき、誠にありがとうございました。

また、ただ今は、議会を代表され、星野寛議員から丁重なる御祝辞を賜りました。心から御礼申し上げます。

この栄誉は、ひとえに県民の皆さまをはじめ、多くの方々の温かい御支援^{たまもの}の賜であり、衷心より感謝申し上げます。

県議会議員としてのこれまでの長い歩みを顧みますと、誠に感慨深いものがあります。

私たちは、県民から負託を受けた責任の重さを深く心に銘じて、常に県民の幸せを第一に考え、活力ある群馬を築くため、情熱と真心と信念をもって、微力を尽くしてまいりました。

このたびの受賞を励みとし、新たな決意をもって、郷土群馬の限りない発展のために、なお一層の研鑽^{けんさん}を重ね、粉骨砕身努力してまいる所存であります。皆さま方におかれましては、今後とも特段の御指導と御鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

以上、申し述べまして御礼の言葉といたします。

ありがとうございました。

議 案 審 議 状 況

第3回後期定例会において審議された議案の総件数は、知事提出議案が24件、委員会・議員提出議案が5件の計29件でした。

		11月24日提出	12月14日提出	今期提出計	11月24日可決	11月29日可決	12月14日可決	12月16日可決	今期可決計	今期否決計
知事提出	予 算 案	8	1	9			8	1	9	
	条 例 案	7		7		2	5		7	
	同 意		3	3			3		3	
	認 定									
	承 認									
	その他の議案	5		5			5		5	
	小 計	20	4	24		2	21	1	24	
委員会・議員提出	条 例 案	1		1	1				1	
	会 議 規 則 案									
	専決処分の指定									
	意 見 書 案		4	4			4		4	
	決 議 案									
	要 望 書 案									
	その他の議案									
	小 計	1	4	5	1		4		5	
合 計		21	8	29	1	2	25	1	29	

第3回後期定例会議決事件概要及び結果

○知事提出議案

番号	件名	概要	討論	議決の態様
172	令和3年度群馬県一般会計補正予算(第14号)	歳入歳出減額 1,077,348千円 歳入歳出総額 908,262,399千円 繰越明許費 追加15件、変更23件 債務負担行為 追加16件	反対(共) 賛成(自)	多数可決 (共反対)
173	令和3年度群馬県流域下水道事業会計補正予算(第1号)	収益的収入及び支出 支出 流域下水道事業費用 補正額 △2,805千円 総額 10,545,241千円 資本的収入及び支出 支出 流域下水道事業資本的支出 補正額 △985千円 総額 5,967,427千円 議会の議決を経なければ流用することのできない経費 職員給与費 補正額 △3,790千円 総額 420,839千円	反対(共) 賛成(自)	多数可決 (共反対)
174	令和3年度群馬県電気事業会計補正予算(第2号)	収益的収入及び支出 支出 電気事業費用 補正額 △12,818千円 総額 8,745,147千円 資本的収入及び支出 支出 電気事業資本的支出 補正額 △852千円 総額 7,067,322千円 議会の議決を経なければ流用することのできない経費 職員給与費 補正額 △13,670千円 総額 1,439,678千円	反対(共) 賛成(自)	多数可決 (共反対)
175	令和3年度群馬県工業用水道事業会計補正予算(第1号)	収益的収入及び支出 支出 工業用水道事業費用 補正額 △2,067千円 総額 2,019,993千円 議会の議決を経なければ流用することのできない経費 職員給与費 補正額 △2,067千円 総額 214,471千円	反対(共) 賛成(自)	多数可決 (共反対)
176	令和3年度群馬県水道事業会計補正予算(第1号)	収益的収入及び支出 支出 水道事業費用 補正額 △4,136千円 総額 4,897,952千円 資本的収入及び支出 支出 水道事業資本的支出 補正額 △322千円 総額 3,598,271千円 議会の議決を経なければ流用することのできない経費 職員給与費 補正額 △4,458千円 総額 514,054千円	反対(共) 賛成(自)	多数可決 (共反対)

番号	件名	概要	討論	議決の態様
185	群馬県立青少年自然の家の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	群馬県立妙義青少年自然の家を廃止しようとするもの	反対（共） 賛成（自）	多数可決 （共反対）
186	群馬県銃砲刀剣類所持等取締法関係手数料条例の一部を改正する条例	銃砲刀剣類所持等取締法の改正に伴うもの	賛成（自）	全会一致 可決
187	指定管理者の指定について	指定管理者の指定に関するもの	反対（共） 賛成（自）	多数可決 （共反対）
188	不動産の処分について	旧県立桐生南高等学校	賛成（自）	全会一致 可決
189	不動産の処分について	旧県立桐生女子高等学校	賛成（自）	全会一致 可決
190	和解について	県央ワクチン接種センター設置に係る損失補償	賛成（自）	全会一致 可決
191	当せん金付証券の発売について	令和4年度発売限度額180億円	反対（共） 賛成（自）	多数可決 （共反対）

○令和3年12月14日追加提出議案

番号	件名	概要	討論	議決の態様
192	令和3年度群馬県一般会計補正予算（第15号）	歳入歳出増額 28,392,962千円 歳入歳出総額 936,655,366千円 繰越明許費 追加6件、変更14件 債務負担行為 追加3件 県債の補正 変更18件		全会一致 可決
193	収用委員会委員の選任について	収用委員会委員君島准逸氏は、令和3年12月18日をもってその任期を満了するので、君島准逸氏を後任者に選任する。		全会一致 同意
194	収用委員会委員の選任について	収用委員会委員清水千恵子氏は、令和3年12月18日をもってその任期を満了するので、清水千恵子氏を後任者に選任する。		全会一致 同意
195	収用委員会予備委員の選任について	収用委員会予備委員保坂充勇氏は、令和3年12月18日をもってその任期を満了するので、保坂充勇氏を後任者に選任する。		全会一致 同意

※自＝自由民主党、共＝日本共産党の略です。

○委員会提出議案

○11月24日提出

番号	件名	提出委員会・発議者	討論	議決の態様
議13	県議会議員の議員報酬等支給条例の一部を改正する条例	議会運営委員会		全会一致 可決

○12月14日提出

番号	件名	提出委員会・発議者	討論	議決の態様
議14	新型コロナウイルス感染症対策における有事の医療提供体制と平時の医療提供体制を両立維持するための財源確保を求める意見書	健康福祉常任委員会		全会一致 可決
議15	旧姓の通称使用の拡大を図り、改姓による不便や不利益の解消を求める意見書	健康福祉常任委員会	反対(共)	多数可決 (共反対)
議16	交通安全施設整備に向けた財源確保等に関する意見書	文教警察常任委員会		全会一致 可決
議17	コロナ禍による米の価格下落及び需給の改善に関する意見書	環境農林常任委員会		全会一致 可決

※共＝日本共産党の略です。

可決された委員会提出議案

議第13号議案

県議会議員の議員報酬等支給条例の一部を改正する条例

第一条 県議会議員の議員報酬等支給条例（昭和二十六年群馬県条例第九号）の一部を次のように改正する。

第七条第二項中「百分の百六十七・五」を「百分の百五十七・五」に改める。

第二条 県議会議員の議員報酬等支給条例の一部を次のように改正する。

第七条第二項中「百分の百五十七・五」を「百分の百六十二・五」に改める。

附 則

この条例は、令和三年十二月一日から施行する。ただし、第二条の規定は、令和四年四月一日から施行する。

提案理由

期末手当の改正を行おうとするものである。

新型コロナウイルス感染症対策における有事の医療提供体制と 平時の医療提供体制を両立維持するための財源確保を求める意見書

過去に例のない新型コロナウイルス感染症への対応のため、これまで国においては大規模な財政支出を行っており、県・市町村では医療提供体制の強化や感染症対応とともに、経済活動の自粛により大きな打撃を受けている事業者への支援等について、国とともに全力を尽くしているところである。

特に、新型コロナウイルス感染症に対応した医療提供体制の構築に当たっては、感染拡大の緊急事態であっても、救急などの一般医療の需要が大きく減少することはないため、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れる病院と、一般医療を担う周囲の民間病院等との役割分担と連携が重要である。

県民の生命と健康を守るため、地域の医療機関が一体となり、医療現場において医師、看護師等が新型コロナウイルス感染症への対応に尽力しており、今後も新型コロナウイルス感染症対策における有事の医療提供体制と、新型コロナウイルス感染症対策以外の平時の医療提供体制の両立が必要不可欠である。

よって、国においては、地域を支える医療機関が、より一層連携し、新型コロナウイルス感染症への対応を進める医療提供体制を構築するとともに、各医療機関が地域の実情にきめ細やかに応える平時の医療提供体制を両立・維持するため、引き続き十分な財源措置を講ずるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年12月14日

群馬県議会議長 井田 泉

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
厚生労働大臣 } あて

旧姓の通称使用の拡大を図り、 改姓による不便や不利益の解消を求める意見書

昨年12月に「第5次男女共同参画基本計画」が閣議決定され、「婚姻により改姓した人が不便さや不利益を感じることをないよう、引き続き旧姓の通称使用の拡大やその周知に取り組む」こととされた。同基本計画では、婚姻後も仕事を続ける女性が増えたことを背景に「婚姻前の氏が使えないのは婚姻後の生活の支障になっている」など様々な意見があることを踏まえた上で「戸籍制度と一体となった夫婦同氏制度の歴史を踏まえ、家族の一体感、子供への影響や最善の利益を考える視点も十分に考慮し、更なる検討を進める」と明記された。

近年、夫婦が別の姓を名乗ることもできる選択的夫婦別姓制度を盛り込んだ民法の改正議論については、賛否両論の様々な意見があるのが現状である。婚姻後も仕事を続ける女性の社会進出に伴う不都合については、旧姓の使用範囲を拡大する法整備を推進することなどにより、旧姓を使用しやすい環境づくりを促進することが必要である。

これらのことから、国においては、国民を含めた議論を十分に深めると同時に、第5次基本計画で定められたように、婚姻により改姓した人が不便さや不利益を生じることがないように、旧姓の通称使用の拡大やその周知に取り組むことを要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年12月14日

群馬県議会議長 井田 泉

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
法務大臣
女性活躍担当大臣
）あて

交通安全施設整備に向けた財源確保等に関する意見書

令和3年6月28日、千葉県八街市の市道において下校途中の小学生が飲酒運転のトラックに巻き込まれ、5人が死傷するという痛ましい事故が発生した。

亡くなられた児童の御冥福をお祈り申し上げるとともに、御家族、関係者の皆様へお悔やみを申し上げます。

この痛ましい事故を受け、本年6月30日に開催された交通安全対策に関する関係閣僚会議の中で、菅内閣総理大臣は「今後、このような悲しく痛ましい事故が二度と起きないように、通学路の総点検を改めて行い、緊急対策を拡充・強化し、速やかに実行に移す。」と述べており、通学路の安全対策は重要な課題の一つである。

令和2年中における群馬県の交通人身事故の発生状況は、死者数が45人で、統計を取り始めた昭和28年以降最少の死者数を記録した。また、交通人身事故発生件数と負傷者数は2年連続で減少している。

しかし、人口10万人当たりの交通人身事故発生件数及び負傷者数は全国上位であり、県内の交通情勢は依然として厳しい状況にある。

このような中、群馬県では、通学路の安全対策のほか、信号機の整備等交通安全施設整備を継続的に実施しているが、財政状況が厳しく、また、コロナ禍の影響により、今後の見通しが不透明な中での対応となっており、交通安全施設整備に資する財源確保が喫緊の課題である。

また、これまで、関係機関により通学路における危険箇所の総点検を行い、安全対策を実施しているところであるが、信号機設置等の安全対策について、その設置指針等に一部合致していない場合、対策の遅延が懸念される場所である。

群馬県議会としても、改善要望箇所の早急な対応を要望しているところであり、地域住民の安心安全な交通環境の確保、将来を担う子供たちが毎日利用する通学路の安全対策をはじめとする交通安全施設整備は、今後も継続的に行われるべきと考える。

よって、次の事項について必要な措置を講じられるよう強く要望する。

記

- 1 信号機の設置をはじめとした交通安全施設整備を拡充すること。
- 2 通学路の安全確保に向けた支援を強化すること。
- 3 信号機設置指針や横断歩道設置に係る交通規制基準を緩和すること。
- 4 飲酒運転の厳罰化及び飲酒運転根絶に向けた気運の醸成を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和3年12月14日

群馬県議会議長 井田 泉

長長大臣臣臣長官
議議大 大大委員
院院理 大大通學會
議議閣 總務 交科委
衆參内財法国土部公安
國文國警

あて

コロナ禍による米の価格下落及び需給の改善に関する意見書

近年、米の消費量が減少する中、昨年からは「新型コロナウイルス感染症」の影響により、外食事業者向けの米を中心に需要が減少し、価格下落が続いている。

国では、令和3年産米の作付けに当たり、過去最大規模と言われる6.7万ヘクタールの作付転換を図った結果、各産地のご努力により概ね達成する見込みとなっている。さらに、米を長期計画的に販売する場合に保管経費などを助成する「米穀周年供給・需要拡大支援事業」により、販売環境を整えている。

しかしながら、主要産地では、全農県本部等がJAに提示する令和3年産米の概算金額が、令和2年産の2～3割下落する水準となっている。本県では、概算金額は公表されていないものの、外食事業者向け業務用米の販売割合が高い本県においては、「新型コロナウイルス感染症」の影響をより強く受けることから、主要産地と同様、あるいはさらなる下落も危惧されているところである。

このまま令和4年産米の作付けを行えば、2年連続の米価下落にとどまらず、3年連続の下落となり、生産者の営農意欲の低下が懸念される。

食料安定供給の観点からも、生産者の意欲を損なうことなく、安定的な米価の下で営農継続できるよう以下の取組を要望する。

記

- 1 コロナ禍の需要減に相当する15万トン「新たな特別枠」として対策を講ずる「コロナ影響緩和特別対策」を着実に実施し、需給状況を改善させること。
- 2 再生産可能な安定した米価とするため、令和4年産米においても需要に応じた主食用米の作付転換を進めること。
- 3 価格下落等、営農上のリスクに対応するため、収入減少影響緩和交付金（ナラシ対策）や収入保険の加入を促進すること。また、同制度の推進にあたり、下落した米価による収入減を次年度以降の基準額にしないこと。
- 4 主食用米の作付転換に支障をきたさないよう、水田活用の直接支払交付金について、十分な予算を確保すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年12月14日

群馬県議会議長 井田 泉

衆議院議長
参議院議長
内閣総務大臣
財務大臣
農林水産大臣
）あて

○産経土木常任委員会

番 号	件 名	区 分			意 見
		採択	不採択	継続	
8	吉岡町と渋川市を結ぶ道路整備についての請願			○	
9	県道前橋長瀬線柳瀬橋における渋滞緩和についての請願			○	
17	小規模企業の資金繰りを支援する請願	取下承認			
22	中心市街地活性化対策等の拡充と街なか居住の推進についての請願			○	
24	市街地再開発事業の更なる推進についての請願			○	
28	「全国一律最低賃金制度の実現と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願			○	
30	小企業・小規模事業者の経営支援を求める請願			○	
31	西毛広域幹線道路の建設促進についての請願	○			願意妥当 結果の報告を求める
32	新しい事業スタイルを踏まえた環境整備への支援についての請願 (趣旨)	○			" "
33	製造業におけるBCP(事業継続計画)に基づく災害防止対策に係る補助金制度の創設についての請願 (趣旨)	○			" "
34	ウイズコロナ・脱炭素時代を見据えた地場製品の販路拡大と利活用推進等による地域活性化についての請願 (1項1号、第2項)(1項2号趣旨)	○			" "
35	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける小売事業者等への支援事業の継続についての請願 (趣旨)	○			" "
36	東北自動車道館林インターチェンジへの接続道路整備についての請願			○	
37	県民が安心・安全・快適な生活を送るための都市基盤整備に対応できる予算措置についての請願 (趣旨)	○			願意妥当 結果の報告を求める
38	新型コロナ感染症対策に係る事業継続支援施策の拡充についての請願 (第1項)(第2項、第3項趣旨)	○			" "
39	ウイズコロナ時代を見据えた雇用維持と産業人材の採用・確保への支援拡充についての請願(2項)(趣旨)	○			" "
40	新型コロナウイルスにより業績が悪化している観光関連事業者等への補助金、助成金等具体的な補助施策についての請願 (趣旨)	○			" "

○文教警察常任委員会

番 号	件 名	区 分			意 見
		採 択	不採 択	継 続	
1	学校給食費の無料化を求める請願			○	
4	公立学校に「1年単位の変形労働時間制」を導入するための条例制定に反対する請願			○	
10	小学校の校庭芝生化の早期実現についての請願			○	
11	教育格差をなくし、ぐんまの子どもたちにゆきとどいた教育をすすめるための請願（1項、2項1号・2号・4号・5号、3項）			○	
12	コロナ禍による危機的な生乳需給緩和の改善を図るため学校給食用牛乳の利用拡大を求める請願（趣旨）	○			願意妥当 結果の報告を求める

閉会中継続審査（調査）特定事件

（令和3年第3回定例会）

総務企画常任委員会

- 1 新たな重要施策の企画・立案について
- 2 情報発信について
- 3 デジタル技術の利活用の推進について
- 4 地域外交について
- 5 総合行政の推進について
- 6 自主財源の伸長について
- 7 公有財産の維持管理について
- 8 危機管理・防災対策について
- 9 市町村の振興について
- 10 地域振興について
- 11 移住、定住及び外国人活躍推進について
- 12 芸術文化の振興と文化づくりの推進について
- 13 スポーツの振興について

健康福祉常任委員会

- 厚文第5号 保育の充実を求める請願
- 厚文第12号 加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の充実を求める意見書の提出についての請願
- 第2号 教育格差をなくし、ぐんまの子どもたちにゆきとどいた教育をすすめるための請願〈2項3号〉
- 1 県民生活・消費者行政・県民防犯の推進について
 - 2 県民の自発的な活動との連携について
 - 3 人権・男女共同参画政策の推進について
 - 4 私学振興・児童福祉について
 - 5 少子化対策・青少年健全育成の推進について
 - 6 保健・医療・福祉の総合調整について
 - 7 社会福祉・社会保障の充実について
 - 8 保健医療対策の充実について
 - 9 食品の安全確保・安心の提供について

10 生活衛生対策の充実について

11 県立病院の充実について

環境農林常任委員会

- 第16号 新型コロナ禍による米危機の改善を求める請願
- 1 環境対策について
 - 2 林業振興対策について
 - 3 食料・農業・農村振興対策について
 - 4 農林漁業災害対策について

産経土木常任委員会

- 第8号 吉岡町と渋川市を結ぶ道路整備についての請願
- 第9号 県道前橋長瀨線柳瀬橋における渋滞緩和についての請願
- 第22号 中心市街地活性化対策等の拡充と街なか居住の推進についての請願
- 第24号 市街地再開発事業の更なる推進についての請願
- 第28号 「全国一律最低賃金制度の実現と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願
- 第30号 小企業・小規模事業者の経営支援を求める請願
- 第36号 東北自動車道館林インターチェンジへの接続道路整備についての請願
- 1 中小企業の振興について
 - 2 企業誘致の推進について
 - 3 観光物産の振興について
 - 4 労働者支援と労働環境整備について
 - 5 雇用対策の推進について
 - 6 MICE 推進・イベント産業の振興について

- 7 コンテンツ産業の振興について
- 8 道路・橋梁の整備促進について
- 9 交通対策について
- 10 河川・砂防対策の促進について
- 11 ハッ場ダム周辺地域の生活再建について
- 12 都市計画・建築・住宅・下水対策について
- 13 災害復旧対策について
- 14 公営企業の推進について

文教警察常任委員会

- 第1号 学校給食費の無料化を求める請願
- 第4号 公立学校に「1年単位の変形労働時間制」を導入するための条例制定に反対する請願
- 第10号 小学校の校庭芝生化の早期実現についての請願
- 第11号 教育格差をなくし、ぐんまの子どもたちにゆきとどいた教育をすすめるための請願〈1項、2項1号・2号・4号・5号、3項〉
- 1 教育施設の整備促進について
- 2 教育体制の確立について
- 3 社会教育の推進について
- 4 学校体育・保健について
- 5 警察体制の確立について
- 6 警察署等の整備促進について
- 7 交通事故防止対策について
- 8 災害救助対策について
- 9 高齢者犯罪対策について

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

- 1 新型コロナウイルス感染症の警戒度、緊急事態宣言に関する事
- 2 新型コロナウイルス感染症の検査・医療体制に関する事
- 3 新型コロナウイルス感染症の県民生活への影響に関する事
- 4 新型コロナウイルス感染症の産業への影響に

関すること

- 5 新型コロナウイルス感染症の教育への影響に関する事
- 6 ウイズコロナ、アフターコロナに関する事

デジタルトランスフォーメーションに関する特別委員会

- 1 行政のデジタルトランスフォーメーションに関する事（行政改革を含む）
- 2 県民生活のデジタルトランスフォーメーションに関する事
- 3 産業のデジタルトランスフォーメーションに関する事
- 4 教育のデジタルトランスフォーメーションに関する事

脱炭素社会・新エネルギーに関する特別委員会

- 1 「ぐんま5つのゼロ宣言」に関する事
- 2 SDGs17ゴールのうち Goal7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、Goal13「気候変動に具体的な対策を」、Goal15「陸の豊かさを守ろう」に関する事
- 3 脱炭素社会づくりに関する事

地方創生・ブランドに関する特別委員会

- 1 官民共創コミュニティに関する事
- 2 地域課題解決に関する事
- 3 スポーツによる地域創生に関する事
- 4 アーティスティック GUNMA に関する事
- 5 温泉文化に関する事
- 6 群馬のブランド化に関する事
- 7 公共交通に関する事

議会運営委員会

- 1 定例会・臨時会の開催に関する事
- 2 会期に関する事
- 3 会議における質問者の数、時間及び順序並び

に緊急質問に関すること

- 4 委員その他役員の各党派又は会派の割り振りに関すること
- 5 常任委員会の調査に関すること
- 6 特別委員会の設置及び廃止に関すること
- 7 議長の諮問に関すること
- 8 その他議会運営上必要とする事項に関すること

委 員 会 委 員 名 簿

(令和3年12月16日現在)

委員会名	委員長	副委員長	委 員
総務企画常任委員会 (10人)	穂積昌信(自)	亀山貴史(自)	久保田順一郎(自) 伊藤祐司(共) 後藤克己(リ) 岸善一郎(自) 安孫子哲(自) 斉藤優(自) 大林裕子(自) (欠員1名)
健康福祉常任委員会 (10人)	泉沢信哉(自)	秋山健太郎(自)	星名建市(自) 井下泰伸(自) 酒井宏明(共) 金子渡(令) 薬丸潔(公) 本郷高明(リ) 森昌彦(自) (欠員1名)
環境農林常任委員会 (10人)	今泉健司(自)	牛木義(自)	星野寛(自) 狩野浩志(自) 小川晶(リ) 井田泰彦(令) 矢野英司(新) 相沢崇文(自) 追川徳信(友) (欠員1名)
産経土木常任委員会 (10人)	大和勲(自)	松本基志(自)	岩井均(自) 水野俊雄(公) 萩原渉(自) 川野辺達也(自) 八木田恭之(リ) 入内島道隆(如) 高井俊一郎(自) 金沢充隆(令)
文教警察常任委員会 (10人)	伊藤清(自)	神田和生(自)	中沢丈一(自) 橋爪洋介(自) 中島篤(自) あべともよ(令) 金井康夫(自) 加賀谷富士子(リ) 鈴木敦子(リ) (欠員1名)
議会運営委員会 (13人)	萩原渉(自)	泉沢信哉(自)	中沢丈一(自) 星名建市(自) 後藤克己(リ) 中島篤(自) 金井康夫(自) 小川晶(リ) 大和勲(自) 川野辺達也(自) 穂積昌信(自) 井田泰彦(令) 今泉健司(自)
新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 (12人)	星野寛(自)	中島篤(自)	狩野浩志(自) 橋爪洋介(自) 水野俊雄(公) あべともよ(令) 酒井宏明(共) 松本基志(自) 八木田恭之(リ) 秋山健太郎(自) 牛木義(自) 鈴木敦子(リ)
デジタルトランスフォーメーションに関する特別委員会 (11人)	久保田順一郎(自)	金井康夫(自)	星名建市(自) 伊藤祐司(共) 井下泰伸(自) 薬丸潔(公) 小川晶(リ) 斉藤優(自) 相沢崇文(自) 金沢充隆(令) 亀山貴史(自)
脱炭素社会・新エネルギーに関する特別委員会 (11人)	中沢丈一(自)	大和勲(自)	後藤克己(リ) 萩原渉(自) 金子渡(令) 伊藤清(自) 本郷高明(リ) 泉沢信哉(自) 矢野英司(新) 神田和生(自) 追川徳信(友)
地方創生・ブランドに関する特別委員会 (11人)	岩井均(自)	川野辺達也(自)	岸善一郎(自) 穂積昌信(自) 井田泰彦(令) 加賀谷富士子(リ) 今泉健司(自) 大林裕子(自) 森昌彦(自) 入内島道隆(如) 高井俊一郎(自)
図書広報委員会 (10人)	橋爪洋介(自)	斉藤優(自)	あべともよ(令) 酒井宏明(共) 薬丸潔(公) 本郷高明(リ) 相沢崇文(自) 神田和生(自) 亀山貴史(自) 秋山健太郎(自)
基本条例推進委員会 (12人)	狩野浩志(自)	伊藤清(自)	星名建市(自) 中島篤(自) 金井康夫(自) 川野辺達也(自) 加賀谷富士子(リ) 泉沢信哉(自) 八木田恭之(リ) 神田和生(自) 金沢充隆(令) 亀山貴史(自)

※(自)は自由民主党、(リ)はリベラル群馬、(令)は令明、(公)は公明党、(共)は日本共産党、(新)は新時代、(如)は如水会、(友)は友信会を表します。

※委員会名欄の()内の数字は、定数を表します。

議 席 一 覧 表

(令和3年12月16日現在)

E 列

1	2

狩 野 浩 志	岩 井 均	星 野 寛	久 保 田 順 一 郎	中 沢 丈 一
3	4	5	6	7

8	9

D 列

			萩 原 渉
1	2	3	4

中 島 篤	井 田 泉	星 名 建 市	橋 爪 洋 介	水 野 俊 雄
5	6	7	8	9

あ べ と も よ	後 藤 克 己	伊 藤 祐 司	
10	11	12	13

C 列

		穂 積 昌 信	川 野 辺 達 也	大 和 勲
1	2	3	4	5

安 孫 子 哲	金 井 康 夫	井 下 泰 伸	岸 善 一 郎	薬 丸 潔
6	7	8	9	10

金 子 渡	小 川 晶	酒 井 宏 明		
11	12	13	14	15

B 列

		相 沢 崇 文	高 井 俊 一 郎	森 昌 彦
1	2	3	4	5

斉 藤 優	松 本 基 志	今 泉 健 司	泉 沢 信 哉	伊 藤 清
6	7	8	9	10

井 田 泰 彦	加 賀 谷 富 士 子	本 郷 高 明		
11	12	13	14	15

A 列

	大 林 裕 子	牛 木 義	秋 山 健 太 郎
1	2	3	4

亀 山 貴 史	神 田 和 生	追 川 徳 信	矢 野 英 司	入 内 島 道 隆
5	6	7	8	9

金 沢 充 隆	鈴 木 敦 子	八 木 田 恭 之	
10	11	12	13

演 壇

※質疑及び一般質問日（11月29日、30日、12月2日）は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、議員が1席ずつ間隔を空けて座るとともに、2班に分け、午前と午後とで交互に議場に入った。

議長閉会のあいさつ

議長 井田 泉

閉会に当たり、ごあいさつを申し上げます。

9月21日に開会した今期定例会は、2日間の会期を延長することとなりましたが、ただ今をもちまして、上程された全ての案件を議了し、ここに閉会の運びとなりました。

議員各位をはじめ、執行部並びに報道機関の皆さまの御協力に対し、厚く御礼を申し上げます。

さて、今期定例会は、本県を含む19都道府県に対して「緊急事態宣言」が発令されるなど、新型コロナウイルス感染症が依然として予断を許さない状況の中での開会となりました。

多くの皆さまが苦境に立たされながらも、各方面で感染拡大防止のための懸命の御努力をしていただいたことで、現在では、ようやく一定程度、感染状況が落ち着くところとなっており、今後は、万一の第6波の到来に備えた医療提供体制の充実・強化とともに、コロナ禍により傷んだ社会経済活動を立て直すことが求められてくるものと存じます。

この間、コロナと直接対峙し、最前線で御尽力いただいた医療従事者の皆さまをはじめ、感染拡大防止に御協力いただいた県民・事業者の皆さまに心から感謝を申し上げます。

県議会といたしましても、各党会派の協力のもと、引き続き、感染拡大に歯止めをかけるための対策や、3回目のワクチン接種の促進、医療提供体制の整備を進めるとともに、力強い経済の再生とさらなる飛躍に向け、県執行部並びに関係機関との連携を図りながら、全力で取り組んでまいる所存です。

さて、今期定例会では、決算審査において、分科会審査及び総括質疑が行われ、令和2年度歳入歳出決算が認定されました。

また、令和3年度補正予算関係では、新型コロナウイルス感染症拡大時における積極的疫学調査を迅速に行うための医療機関に対する支援の実施や、「ストップコロナ！対策認定店」の質を担保するための見回り調査の実施のほか、健康上の理由等でワクチン接種を受けられない方に対するPCR等検査の無料化、3回目のワクチン接種体制を確保するための県営ワクチン接種センターの設置など、早急に対応が必要な施策を実施するための補正予算が議決となりました。

一方、事件議案では、「県有施設のあり方見直し」の最終報告に基づき、県民会館の利用を大ホール及び附帯施設のみに縮小する条例改正や、旧桐生南高等学校及び旧桐生女子高等学校の建物等の不動産の売却に関する議案も議決に至りました。

他方、今期定例会では、全議員を対象としたハラスメント研修の初開催に加え、吉川総務省自治行政局長やかまやち釜淵公益社団法人日本医師会常任理事などをお招きした勉強会・講演会等が精力的に開催されたほか、選挙区等検討委員会についても、活発な議論が展開されることとなっております。

また、ICT化への取組についても、全議員にタブレット端末を貸与するとともに、前期定例会から委員会においてペーパーレスによる会議運営を開始し、後期定例会からはこれを本会議にも拡大するところとなりました。さらに、オンラインによる会議の開催や調査の実施にも取り組んでおり、今後もデジタル技術を活用した

議会活動の充実を図ってまいります。

県議会といたしましては、今後も議員一人一人が高い使命感と強い責任感をもって自己研鑽^{けんざん}に精励するとともに、県民の誰もが安心して暮らせる豊かな群馬の創造に向けて、不断の努力を続けてまいります決意です。

これから本格的な冬を迎え、寒さも一段と厳しさを増してまいります。議員各位におかれましては、健康には十分に御留意の上、御活躍されますことを御期待申し上げますとともに、県民の皆さまにとって、来たるべき新年が明るく希望に満ちた年となりますよう祈念いたしまして、閉会のあいさつといたします。

委員会活動

県内調査等

脱炭素社会・新エネルギーに関する特別委員会



やんば天明泥流ミュージアム

- 1 期 日 令和3年11月2日(火)
- 2 開催場所 ◎株式会社ウイズウェストジャパン草津事業所(吾妻郡草津町)
◎ハツ場発電所(吾妻郡長野原町)
◎やんば天明泥流ミュージアム(吾妻郡長野原町)
- 3 出席委員 中沢委員長、大和副委員長、後藤、萩原、金子、伊藤(清)、本郷、矢野、神田の各委員

4 調査の概要

- ◎株式会社ウイズウェストジャパン草津事業所(吾妻郡草津町)

株式会社ウイズウェストジャパンは、昭和34年の創業以来、従来のカレット集荷・加工・販売から、資源回収運搬、リサイクルセンターの設計・

施工、各種廃棄物の中間処理、最終処分場の運営、ペットボトル及び廃プラスチックの再生利用などの事業を行っている。

また、同社は、草津町にある一般廃棄物最終処分場の「草津ウェストパーク」について、一般廃棄物の受け入れ終了後、覆土工事を行い、地元への貢献と土地の有効利用を目的とし、地元企業である株式会社白根草津パークランドと連携して、土地賃貸借契約を締結し太陽光発電設備を設置した。

については、委員会審査の参考とするため、株式会社ウイズウェストジャパンの概要及び取組について調査を行った。

(1) 概要説明

ア 説明会場

株式会社ウィズウェイトジャパン草津事業所

イ 説明者及び出席者

株式会社ウィズウェイトジャパン代表取締役、株式会社ウィズウェイトジャパン草津事業所長、株式会社白根草津パークランド代表

(県側出席者)

環境森林部長、環境政策課長、気候変動対策課長、廃棄物・リサイクル課長

ウ 説明内容

資料に基づいて説明が行われた。

- ・草津ウェイトパークの概要・特徴等の資料
- ・株式会社ウィズウェイトジャパンの会社概要資料等



概要説明の様子

(2) 視察の状況



太陽光発電設備の説明を受ける様子

【主な質疑】

問：施設を設置するに当たり、住民の反対等はなかったのか。

答：平成4年8月から埋め立てを開始したが、平成4年当時は、処分場は許可制でなかったため、地主から土地を購入し、県に届け出たのが始まりだった。そのときは地域の皆さま、草津町の皆さまに懇切丁寧に説明させていただいた。

第2期では、説明会を何度も実施させていただいた。下流の長野原町の皆さまにも説明を行った。平成22年の第3期では、地元の皆さま、さらに下流の皆さまにも説明をさせていただいた。そうした中であって、適正な維持管理をずっと継続したというところが一番重要だったと思う。そこが安心・安全につながり、皆さまの御理解をいただいたと考えている。

問：売電はいつから開始しているのか。

答：10月1日から開始している。多い日は1日6,500kWくらい発電している。

【所感・意見・感想など】

○本郷委員

現在、経済成長と人口増加に伴って、地球規模での廃棄物の増加と質の多様化が起こっている。適正処理が行われない廃棄物は生活環境や公衆衛生を悪化させ、時に深刻な健康被害を引き起こす可能性がある。持続可能な開発のためには、廃棄物問題に適正に対処する必要がある。

近年、廃棄物の不法投棄等が横行し、汚染された土壌や周辺環境を回復するために、多額の費用を投じることが必要になった。また、これらの問題により、住民の間に廃棄物や処理施設に対する不信感も生じた。

株式会社ウィズウェイトジャパン草津事業所では、住民理解を第一に考え、「管理型最終処分場」として埋立跡地に太陽光発電事業やグラウンド公園整備等を展開するなど、有効利用による地域活性化への貢献に寄与している。

快適な生活環境を創造し維持するために、廃棄物処理は欠くことのできない重要な仕事である。しかし、複雑、多様化する社会とそこから生み出される廃棄物を適切に処理していくのは容易ではない。

今回の視察を契機に、廃棄物処理のシステムをどのように社会に適応させていくのか、県においても適切な対策を講じていきたいと思う。

◎ハッ場発電所（吾妻郡長野原町）

企業局では、本県の自然条件に最も適した発電方式であり、地球温暖化の原因とされる温室効果ガス（二酸化炭素）などが排出されない「クリーンエネルギー」として注目を集めている水力発電所を32カ所運営している。その中で、令和3年4月から33カ所目の水力発電所として、ハッ場発電所が運転を開始した。

ハッ場発電所は、ハッ場ダム放流水を利用したダム式発電所で、ダムの利水放流管から分岐した発電専用管により、ダム直下左岸に設置する発電所で発電を行っている施設である。年間発電電力量は、約4,200万kWであり、一般家庭約12,000世帯分の消費電力量を発電している。

については、委員会審査の参考とするため、ハッ場発電所の概要及び取組について調査を行った。

(1) 概要説明

ア 説明会場

ハッ場発電所

イ 説明者及び出席者

吾妻発電事務所長

環境森林部長、環境政策課長、気候変動対策課長、廃棄物・リサイクル課長、農政課長、技術支援課長、企業管理者、発電課長

ウ 説明内容

資料に基づいて説明が行われた。

・「ハッ場発電所の概要について」等



概要説明の様子

(2) 視察の状況



ハッ場発電所での調査の様子①



ハッ場発電所での調査の様子②

【主な質疑】

問：発電所内部を一般の方に見ていただく予定はあるのか。

答：予約制で見ていただこうと考えている。

問：ハッ場発電所の売り込みは考えているか。

答：積極的に売り込もうと考えている。観光雑誌やテレビの旅番組などで取り上げていただくこと

を考えている。

問：料金はどうなるのか。

答：無料である。

【所感・意見・感想など】

○神田委員

県内33カ所目の水力発電所として今年度4月1日より運転を開始したハッ場発電所は、「再生可能エネルギーの導入促進」と「県内エネルギー自給率の向上」のため、国土交通省が建設したハッ場ダムの利水放流水を利用して発電するダム式発電所であり、年間発電量は約4,200万kWで、一般家庭約12,000世帯分の消費電力量を発電しているとのことである。ダムの最大有効落差は105.8mであり、そのスケールの大きさに圧倒された。ハッ場ダムは多くの観光客が訪れるロケーションを有しているので、企業局が水力発電の絶好のPRができると思う。

また、全国初のプロジェクションマッピングには驚かされた。水力発電における水の循環から電気を起こすまでの過程や水車・発電機の内部の仕組みをイメージした迫力ある映像には、訪れた誰もが感動することであろう。

今後は、解説員の配置や見学者の受け入れ体制を整備し、地域の町とも協力しながら観光振興につなげていくとのことである。

◎やんば天明泥流ミュージアム（吾妻郡長野原町）

ハッ場ダム建設工事に伴い、平成6（1994）年から令和元（2019）年までの26年間、公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団や長野原町教育委員会により大規模な発掘調査が行われ、調査区からは、縄文から江戸時代までの遺跡が多数発見された。

特に江戸時代の天明3（1783）年、浅間山の大噴火により発生した「天明泥流」に埋没した村落が、広範囲に発見された。

やんば天明泥流ミュージアムは、そうした調査成果をもとに、「天明泥流」の被害の全貌をひもと

き、当時の村々の景観や人々の暮らしを今によみがえらせ、体感することを目的として設立された施設である。

については、委員会審査の参考とするため、やんば天明泥流ミュージアムの概要及び取組について調査を行った。

(1) 概要説明

ア 説明会場

やんば天明泥流ミュージアム

イ 説明者及び出席者

長野原町長、長野原町議会議員、

やんば天明泥流ミュージアム館長

（県側出席者）

環境森林部長、環境政策課長、気候変動対策課長、廃棄物・リサイクル課長

ウ 説明内容

資料に基づいて説明が行われた。

・「やんば天明泥流ミュージアムパンフレット」等



概要説明の様子

(2) 視察の状況



館内見学の様子

【主な質疑】

※館内を見学しながら随時質疑応答が行われた。

【所感・意見・感想など】

○矢野委員

八ッ場ダム建設工事に伴い、大規模な発掘調査が行われ、吾妻川沿いを中心に縄文時代から江戸時代までの遺跡が発見された場所である。八ッ場地域の縄文時代の土器や石器など原始古代の特徴から多彩に紹介されている。江戸時代1783年（天明3年）の浅間山大噴火により埋没した集落が広範囲に発見され、大噴火当日の刻みタバコが詰まった煙管や、梅干しを漬け込んだ樽^{きせる}など、それぞれの時代の生活ぶりが分かる出土品や発掘現場の様子などが体感しながら学べる展示施設となっており、勉強になった。

環境農林常任委員会



ヒュッテハヤシカフェ（赤城公園ビジターセンター内）

- 1 期 日 令和3年12月6日(月)
- 2 開催場所 ◎県立赤城公園（前橋市）
◎蚕糸技術センター（前橋市）
- 3 出席委員 今泉委員長、牛木副委員長、
星野、狩野、小川、井田（泰）、
矢野、相沢、追川の各委員

4 調査の概要

◎県立赤城公園（前橋市）

県立赤城公園は、昭和天皇の赤城山行幸を記念し、昭和10年に開設された1,290haの県立公園である。

県立赤城公園の利用者数は、昭和から平成初期に

かけて年間100万人を超えていたが、東日本大震災の放射性セシウム汚染によるワカサギの出荷自粛や新型コロナウイルス感染症対策のための外出自粛などにより、現在では50万人まで半減している。また、地元事業者の高齢化や後継者不足によるマンパワー不足、施設の老朽化も課題となっている。

現在、県では自立性のある持続可能な公園の管理・運営を推進するため、民間企業の知見も生かしながら「県立赤城公園の活性化に向けた基本構想」の策定を進めているところである。

については、県立公園の管理・運営の観点から、県立赤城公園内の施設等の現状を調査した。

(1) 概要説明

ア 説明会場

県立赤城公園

イ 説明者及び出席者

自然環境課次長、

株式会社エーアンドブイ企画代表取締役

(県側出席者)

環境森林部長、環境政策課長、自然環境課長

ウ 説明内容

以下について、口頭により説明が行われた。

- ・県立赤城公園の活性化に向けた取組について
- ・覚満淵周辺及び啄木鳥橋の現状について
- ・ヒュッテハヤシカフェのオープンまでの経緯等について



概要説明の様子

(2) 視察の状況



啄木鳥橋視察の様子

【主な質疑】

問：日本スキー界のレジェンドである猪谷千春^{いがちはる}氏が生まれ育った赤城山をスキーの聖地として売り出し、前橋市の活性化につなげてほしいが、林社長はどう感じているか。

答：赤城山のスキーの歴史と文化を残すような取組が必要だと思う。今後、スキーについては手を付けたいと考えている。

問：ヒュッテハヤシカフェをオープンしての反響はどうか。

答：反響は大きかった。例えば、前橋のフリーペーパーのサイトで、ヒュッテハヤシカフェのレビューが1番だった。また、カフェができて、多くの人に来るようになり、赤城山頂は夏場でもクーラーの必要がないということに気づきはじめた。テレワーク用の施設を整備して、そこから収入が得られれば、運営の財源にでき、活性化につながるのではないかと考えている。

【所感・意見・感想など】

○狩野委員

赤城公園ビジターセンターの食堂スペースを活用したトライアルサウンディングで、エーアンドブイ企画林智浩社長が、赤城山資源プロジェクトにより本年7月にオープンさせた。

林社長は、以前から赤城山を何とかしたい、山頂

で何かをやりたい思いがあったとのこと。このビジターセンターにはバス停があり、赤城山の入口で時間を気にしないで気軽に休める場所を利益追求なしで提供している。その心意気には敬服させられた。廃墟状態であったビジターセンターを何としても変えなければならないとの思い。予算が無ければ予算を掛けずにやる事が大事。そこで、自分自身が先頭にやる姿勢が大切だと熱く語っていた。

オープン後は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況であったが、多くのメディアに取り上げられて大きな反響があったとのこと。私自身、林社長の赤城山を何とかしたい情熱に共感し、できる限りの支援をしなければならないと思いを強くした。

また、残念ながら悪天候のため、覚満淵の新たに整備された木道などは視察中止となったが、赤城山大沼の象徴である啄木鳥橋の現状を調査した。

設置後50年を経過し、老朽化が著しく解体工事を既に地元業者に発注したとのこと。

今後は、県立赤城公園の活性化に向けた基本構想を策定する中で、架け替えを検討する予定であり、早期実現を願うばかりである。赤城山は群馬県の経済活性化や観光振興に最大限に活用すべきであり、私自身も、地元の皆さまの意見を尊重し、前橋市とも連携し全力で取り組む決意を新たにした。

◎蚕糸技術センター（前橋市）

本県における繭生産量の推移は、平成26年に富岡製糸場等の世界遺産登録により32年ぶりに増産、その後、数年は横ばいだったものの、平成30年から再び減産に向かっている。

「群馬県農業農村振興計画」では、本県伝統産業である蚕糸業の持続的発展に向けて、生産基盤の強化、多様な養蚕担い手の育成・定着を図り、県産シルクの需要拡大と遺伝子組換えカイコの実用化による新産業創出に向けた取組を推進するとしている。

蚕糸技術センターでは、蚕糸業の振興を図るため、新しい蚕糸業の創出に関する試験研究、蚕糸業の高

付加価値化に関する試験研究、養蚕農家及び製糸業者への技術支援、養蚕・製糸・絹業技術の保存と継承、体験支援などの事業を行っている。

については、食料・農業・農村振興対策の観点から、蚕糸技術センターの概要や取組について調査を行った。

(1) 概要説明

ア 説明会場

蚕糸技術センター

イ 説明者及び出席者

蚕糸技術センター主席研究員

農政部長、農政副部長、農政課研究調整主監、蚕糸園芸課主監、蚕糸技術センター所長

ウ 説明内容

資料に基づいて説明が行われた。

- ・「群馬県蚕糸技術センター要覧」
- ・「群馬の養蚕業と製糸業」等



概要説明の様子

(2) 視察の状況



施設内視察の様子①



施設内視察の様子②

【主な質疑】

問：「あしぎぬ」は何色なのか教えていただきたい。

答：白色に黄色がかかった色だと思われる。正倉院にあるものを写真で見たが、そのような色だった。

問：稚蚕人工飼料センターの運営状況はどうか。収支を含めて課題があれば教えていただきたい。

答：当センターの売上げの半分が人工飼料で、もう半分が桑の粉末である。ここ2年、コロナの影響等で売れ行きが悪くなっているため、資材費や修理費に充てていたものを切り詰めて、どうか運営している状況である。状況が変われば収入も増えるものと考えている。

問：遺伝子組換えカイコの飼育は農家にとって大変か。

答：一般的な品種と遺伝子組換え品種をかけ合わせて、飼育しやすい品種をつくっているのので、ベテランの農家であれば普通に飼育できる。遺伝子組換えは、法律により種類ごとに申請が必要で時間を要するため、次年度以降はゲノム編集に取り組みたいと考えている。

問：若い方や子どもにとって、養蚕業が本県の伝統産業という意識が身に付きにくいと思う。セン

ターでは、実験教材としてカイコを学校などに配布していると聞いているが、一般の方がカイコに接するなどの体験をどれくらい行っているか。

答：具体的な数字はお答えできないが、学校の先生や個人の方にカイコの卵を販売し、飼育していただいている。人工飼料も用意しており、学校などには減免措置があり無料で配布している。また、日本絹の里では、毎年夏、飼育体験をしていただいている。

【所感・意見・感想など】

○小川委員

県蚕糸技術センターは、群馬県の伝統産業である蚕糸業振興の拠点として、蚕糸業の高付加価値化に関する試験研究やオリジナル蚕品種の製造・供給、養蚕農家や製糸業者への技術支援などに取り組んでいる。県内の養蚕農家や製糸業はピーク時に比べると激減しているものの、それでも全国1位の繭生産量と生糸生産量を誇っているのは、蚕糸技術センターの支援があつてこそ。

近年では、夏の暑さに強い「なつこ」という新品种の開発や遺伝子組換えカイコの実用化を積極的に進めるほか、ぐんま養蚕学校による担い手育成や稚蚕人工飼料の全国供給など、群馬のみならず日本の蚕糸業・絹文化の^{とりで}皆として重要な役割を担っている。

一方で、研究予算の不足や担い手の高齢化など課題も多く、今後は作業負担を軽減する技術開発や高付加価値化の取組がより一層必要になると感じた。これまで蓄積された技術や応用研究、遺伝子研究の成果を未来にしっかりとつないでいってもらいたい。

デジタルトランスフォーメーションに関する特別委員会



ネッゲン
NETSUGEN

- 1 期 日 令和3年12月21日(火)
- 2 開催場所 県庁舎32階 官民共創スペース
NETSUGEN
- 3 調査先 ①アマゾンウェブサービスジャパン合同会社
②ソフトバンク株式会社
- 4 出席委員 久保田委員長、金井副委員長、
星名、伊藤（祐）、井下、薬丸、
小川、斉藤、相沢、金沢、亀山の
各委員

5 実施方法

県庁舎32階官民共創スペース NETSUGEN において、調査先①はオンラインでの調査、②は調査先社員による会場での説明とオンラインを併用した形での調査を実施した。

なお、群馬県議会では NETSUGEN を活用した委員会調査は初の試みである。

6 調査の概要

本県におけるデジタルトランスフォーメーション推進の参考とするため、以下の2社における取組に

ついて調査を行った。

◎アマゾンウェブサービスジャパン合同会社 (東京都品川区)

アマゾンには、アメリカワシントン州シアトルで創業し、2000年11月から日本でのサービス提供を開始した。同社が2006年に企業向けに提供開始したアマゾンウェブサービス (AWS) は、世界で広く採用されているクラウドサービスである。サーバー、ストレージ、データベースなどをクラウド上で管理・利用でき、企業等のコスト削減や業務の効率化に活用されている。

(1) 概要説明

ア 説明者及び出席者

アマゾンウェブサービスジャパン合同会社
パブリックセクター 統括本部長、
パブリックセクター 技術本部長、
パブリックセクター 営業本部
(県側出席者)

デジタルトランスフォーメーション推進監、
デジタルトランスフォーメーション課長、
業務プロセス改革課長

イ 説明内容

・資料により、概要説明が行われた。

(2) 調査の状況



オンラインで説明を受ける様子①



オンラインで説明を受ける様子②

【主な質疑】

問：他機関ごとに紙ベースで保有するデータをデータベース化する場合の情報収集の方法はどうか。

答：多方面からの情報収集に関しては、個人情報保護の課題がある。デジタル化でつなげれば便利になるが、国による法整備等の整理が進むことを期待している。

問：データベース環境の開発ポイントについて伺いたい。

答：OracleなどのデータベースもAWSに移行することは可能である。AmazonRDSというデータ

ベースの運用を簡単にするサービスもある。コストの関係から既存のデータベースを移行する支援も行っているのでさまざまな顧客に応えることができると考えている。

問：自治体DXの課題とサービス活用のための人材の育成についてはどうか。

答：組織の縦割りによる権限の問題や横串が刺さらないことが課題であり、データはつなげて活用することで生きてくるものである。AWSでは人材育成のためのトレーニングコースやコンテンツを用意しAWSについて学ぶ環境の取組も行っている。

【所感・意見・感想など】

○亀山委員

全国トップクラスのデジタル県を目指す本県にとって、世界を代表する企業を調査することができたことは非常に意義のあることであったと感じている。何のための「デジタル化」なのか、の根本に立ち返って考える機会にもなったと思った。

また、県民の利便性や幸福度の向上に向けては、いかに多くの県民にデジタルを利用してもらえるかも重要な課題になると考える。

これまでアマゾンが世の中に送り出してきた数々のイノベーションに関しても、人々の生活を豊かにするために、従来の概念を覆すような取組をされてきた訳である。お客さまの視点からの考え方を重視する姿勢に関しても大変参考になった。

私たち県議会も、県民の皆さまの生活を豊かにするために、県民の視点での審議・議論を重ねてより良い群馬県の実現に向けて取り組んでまいりたいと改めて考えさせられる機会となった。

◎ソフトバンク株式会社（東京都港区）

ソフトバンク株式会社は、1986年12月9日に設立され、移動通信サービスの提供、携帯端末の販売、固定通信サービスの提供、インターネット接続サービスの提供を中心に事業活動を行っている。近年で

は、より便利で快適なサービスを提供するため、日々技術革新に取り組むとともに、企業等の DX を加速するため、AI（人工知能）や IoT、5G を活用した課題解決の提案事例紹介も行っている。

(1) 概要説明

ア 説明者及び出席者

ソフトバンク株式会社 法人事業統括 鉄道・公共事業推進本部 公共事業推進室長、公共事業推進室事業推進第一部長

(県側出席者)

デジタルトランスフォーメーション課長、業務プロセス改革課長

イ 説明内容

・資料により、概要説明が行われた。

(2) 調査の状況



オンラインで説明を受ける様子



同社社員から会場で説明を受ける様子

【主な質疑】

問：医療、福祉、介護の取組について紹介いただいた以外の取組はどうか。

答：最終的に地域包括ケアについて医療や介護をワンストップで対応できるようサービス開発を進めている。

問：地方自治体ごとに規模や産業などが異なる中で、課題発見などに行政や地域住民も関わっていく必要があると思うがどうか。

答：社会課題も自治体で異なるためアプローチ方法もさまざまである。自治体の事情を確認し、解決手法を検討している。

問：紹介されたシステムはクラウドサービスか、オンプレミスか。

答：ほとんどはクラウドサービスである。

問：プラットフォームの選択はどうか。

答：自社でもクラウドサービスを保有している。また、AWS や Google ともパートナーを組んでいるので、希望により選択が可能である。

問：従業員のテレワークが進んでいると感じたが、会社の方針はどうか。

答：社内においても働き方の柔軟性が高まっている。仕事をする場所の考え方が変わってきている。

問：テレワークの人事効果はどうか。

答：テレワークによりコミュニケーションが減少するが、WEB 上のコミュニケーションは推奨している。また、業務のプロセスを管理するため、出社による顔合わせも部署ごとに行っている。

【所感・意見・感想など】

○金沢委員

本県のデジタルトランスフォーメーション（DX）推進の参考とするため、ソフトバンク株式会社を取り組む DX について調査した。なお調査は、県庁舎 32 階の NETSUGEN を利用し、会場での担当者の説明とオンラインを併用する形で行った。

まず総論として、少子高齢化による労働人口減少やデジタル化の遅れなどの日本が置かれている現状と課題、行政の生産性向上の必要性等について説明を受けた。その後、医療・福祉・防災・農業など、行政の各分野における DX の社会実装の具体的な取組状況が紹介され、本県の DX を推進していく上で有意義なお話を伺うことができた。

また、地方自治体が抱える社会課題解決に向けて

は、現場に最も近い市町村における DX の推進が必要となるが、その一方で、それらを運用・継続していくためのリソース（人材、情報、予算等）をどのように確保するかが今後の大きな課題である。その意味では、人材育成や必要な支援など、県が積極的に全体のコーディネート機能を果たしていくことが重要と感じた。

議員に密着ゼミナール ～もっと知りたい政治のハナシ～

若者の政治への関心を高める取組として、令和3年12月23日(休)に、高崎経済大学の協力のもと、県議会議員が大学に出向いて学生と意見交換を行う「議員に密着ゼミナール～もっと知りたい政治のハナシ～」を開催しました。

高崎経済大学地域政策学部の授業「現代政治論」において、「群馬県の地域課題について」をテーマに、担当の増田正教授の司会により134人の学生と3人の議員が意見を交わしました。



意見交換をする議員



意見交換の様子

群馬県議会議員名簿

令和3年12月16日現在

氏名	期	党(会)派	住所	生年月日	電話番号	郵便番号
中沢 丈一	8	自由民主党	前橋市上佐鳥町685	昭23.10.20	027-265-1232	371-0816
久保田 順一郎	6	自由民主党	邑楽郡大泉町中央3-11-24	昭27.8.22	0276-63-8386	370-0516
星野 寛	6	自由民主党	利根郡片品村土出759-1	昭30.6.23	0278-56-2342	378-0412
岩井 均	6	自由民主党	安中市松井田町高梨子864-1	昭39.1.25	027-393-5447	379-0215
狩野 浩志	5	自由民主党	前橋市三俣町2-20-7	昭35.8.23	027-232-9635	371-0018
橋爪 洋介	5	自由民主党	高崎市片岡町1-16-8	昭42.4.28	027-326-8866	370-0862
星名 建市	4	自由民主党	渋川市金井424-1	昭31.11.12	0279-24-0067	377-0027
伊藤 祐司	4	日本共産党	高崎市北新波町136-4	昭33.3.5	027-343-8067	370-0082
井田 泉	4	自由民主党	佐波郡玉村町上新田1480	昭38.3.15	0270-65-8577	370-1133
水野 俊雄	4	公明党	前橋市大友町3-12-33	昭47.3.2	027-226-4178	371-0847
後藤 克己	4	リベラル群馬	高崎市八幡町800-24	昭48.6.21	027-343-1393	370-0884
中島 篤	4	自由民主党	高崎市浜川町2266	昭29.10.29	027-395-0818	370-0081
萩原 渉	4	自由民主党	吾妻郡草津町草津464-887	昭28.10.20	0279-88-5977	377-1711
あべ ともよ	4	令明	太田市東今泉町341-1	昭46.10.23	0276-22-1181	373-0021
岸 善一郎	3	自由民主党	高崎市中里町16-1	昭25.3.14	027-372-0488	370-3532
井下 泰伸	3	自由民主党	伊勢崎市本町16-11	昭38.10.23	0270-50-0177	372-0047
酒井 宏明	3	日本共産党	前橋市上新田町676-1 ルミエール105	昭40.10.3	027-254-0476	371-0821
金井 康夫	3	自由民主党	沼田市東倉内町771	昭44.2.16	0278-22-2771	378-0043
金子 渡	3	令明	渋川市石原1498-26	昭45.10.12	0279-25-3050	377-0007
安孫子 哲	3	自由民主党	前橋市城東町2-3-14	昭46.4.24	027-237-0815	371-0016
薬丸 潔	3	公明党	太田市浜町21-32	昭53.7.16	0276-47-0470	373-0853
小川 晶	3	リベラル群馬	前橋市古市町1-43-7	昭57.12.21	027-255-7700	371-0844
伊藤 清	2	自由民主党	安中市原市4-4-28 アヴェニュー南1F西号室	昭29.1.6	027-388-0607	379-0133
大和 勲	2	自由民主党	伊勢崎市山王町1163-2	昭39.10.12	0270-22-4599	372-0831
川野辺 達也	2	自由民主党	邑楽郡板倉町岩田1626-1	昭40.9.3	0276-82-4670	374-0133
本郷 高明	2	リベラル群馬	前橋市東善町347-3	昭46.6.28	027-266-1919	379-2132
穂積 昌信	2	自由民主党	太田市龍舞町2235-2	昭49.9.18	0276-60-2220	373-0806
井田 泰彦	2	令明	桐生市新里町新川1181-4	昭53.2.9	080-4353-1428	376-0121
加賀谷 富士子	2	リベラル群馬	伊勢崎市太田町564-1	昭53.4.20	0270-22-2451	372-0006
泉沢 信哉	2	自由民主党	館林市若宮町2451-3	昭33.12.20	0276-72-5071	374-0007
今泉 健司	2	自由民主党	みどり市笠懸町阿左美2887-82	昭52.7.8	0277-76-9499	379-2311
松本 基志	1	自由民主党	高崎市八千代町1-17-8	昭34.7.24	027-325-1727	370-0861
斉藤 優	1	自由民主党	伊勢崎市境291	昭34.11.14	0270-74-0336	370-0124
大林 裕子	1	自由民主党	北群馬郡吉岡町小倉甲91	昭35.2.18	0279-54-3745	370-3607
森 昌彦	1	自由民主党	邑楽郡大泉町坂田4-22-1	昭36.4.26	0276-63-2332	370-0532
八木田 恭之	1	リベラル群馬	太田市東金井町917 大堂ビル1階D号室	昭37.1.1	0276-55-5661	373-0022
入内島 道隆	1	如水会	吾妻郡中之条町四万3838	昭38.2.6	0279-64-2001	377-0601
矢野 英司	1	新時代	富岡市富岡736-4	昭42.10.28	0274-64-9081	370-2316
高井 俊一郎	1	自由民主党	高崎市山名町1510-1	昭50.11.5	027-346-1736	370-1213
相沢 崇文	1	自由民主党	桐生市相生町2-334-2	昭51.2.25	0277-32-3494	376-0011
神田 和生	1	自由民主党	藤岡市上戸塚108-37	昭51.10.13	0274-23-5757	375-0013
金沢 充隆	1	令明	藤岡市西平井228-2	昭52.7.10	0274-37-1258	375-0044
亀山 貴史	1	自由民主党	桐生市菱町4-2251	昭52.7.19	0277-44-3230	376-0001
秋山 健太郎	1	自由民主党	太田市西本町6-6	昭52.10.11	0276-22-3195	373-0033
牛木 義	1	自由民主党	甘楽郡甘楽町上野157-1	昭61.8.5	0274-75-4142	370-2201
追川 徳信	1	友信会	高崎市八幡町1315-17	昭34.5.29	027-343-5063	370-0884
鈴木 敦子	1	リベラル群馬	高崎市倉賀野町(事務所:高崎市吉井町吉井547-3)	昭56.2.15	027-387-1432	370-2132

注1 定数50人(現員47人)の各党(会)派別内訳集計(在職年数・年齢順)

2 自由民主党30人、リベラル群馬6人、令明4人、公明党2人、日本共産党2人、新時代1人、如水会1人、友信会1人

群馬県議会時報 第72巻 令和3年第3回後期定例会

令和4年2月16日発行

発行 群馬県議会事務局
前橋市大手町1丁目1-1
TEL 027 (223) 1111

編集 群馬県議会事務局政策広報課

印刷 朝日印刷工業株式会社